

Ai愛労連

愛知県労働組合総連合

名古屋市熱田区沢下町9-7

労働会館東館3F

TEL 052-871-5433

FAX 052-871-5618

URL http://www.aioren.gr.jp

発行人 吉良 多喜夫

第209号 2010年12月10日

愛労連・春闘共闘新春大学学習会

■と き 1月8日(土)13:30開会

■と ころ 名古屋国際会議場 4号館431・432

愛労連2011旗びらき

■と き 1月12日(水)18:30開会

■と ころ 労働会館東館ホール

革新県政の会

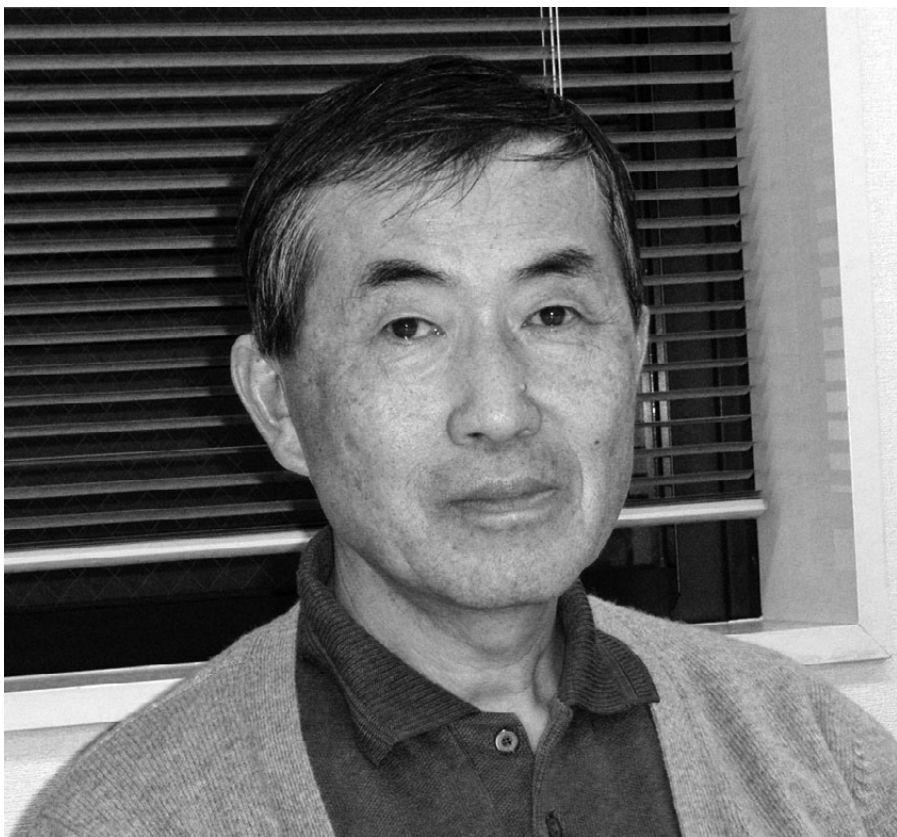
愛知県知事選

1月20日告示

2月6日投票

ど い と し ひ こ

土井敏彦氏を擁立



新しい県政へと熱い想いを抱く土井としひこさん（愛労連事務所にて）

革新県政の会は、2011年1月20日告示(2月6日投票)の愛知県知事選挙で、医師・土井敏彦(どいとしひこ)氏(64歳)の擁立を12月4日の臨時総会で決定しました。土井氏と「会」は総会場で政策・組織協定を結び、「くらしを守る緊急提案」をもとに県民のくらし、福祉、平和を守り、地域経済活性化と若者の雇用拡大などをかかげてたたかいます。愛労連としても組織をあげて土井氏を先頭に奮闘します。

「くらしが元気、働く人が元気、中小企業が元気な県政を」。革新県政の会は土井敏彦さんを先頭に、若者が希望を持てはたらける愛知をめざしています。土井敏彦さんは発足初期の南医療生協に入職し、一貫して地域医療に携わってきました。

核戦争に反対する医師の会愛知でも活動し、5月におこなわれたNPT(核不拡散防止条約)再検討会議ニューヨーク行動にも参加。県に對しても①住宅リ

「会」は県知事選挙に先立ち、「県民のくらしを守る重点要請書」を議会に提出。県に對しても①住宅リ

愛知で生まれ、過ごした人が、愛知でよかったと思える県政にしたい



土井としひこ(敏彦)／1946年10月28日生(64歳)／名古屋大学医学部卒業／南医療生協勤務。現在は嘱託(専門は内科・小児科)／前有松診療所所長／2003年6月から愛知県保険医協会理事、2007年から同公害対策部会部長／同居家族は妻と長男／趣味は旅行、合唱、碁、音楽鑑賞など

地域経済破壊に反対し雇用・賃上げ勝ち取ろう

愛労連と愛知春闘共闘が2011国民春闘討論集会を開催



講演をする藤好重泰全労連副議長

12月5日、熱田区の労働会館本館で11国民春闘討論集会を開催し、106人が参加しました。樽松議長のおいさつ後、基調講演で全労連副議長の藤好重泰さんは、この春闘期に公契約運動にとりくむことの意義と重要性を強調しました。

地域主権改革と公務職への攻撃の実態について愛知国公塚本議長が報告。全厚生闘争団としてたたかう國枝さんから決意表明がありました。自治労連県本部の永井さんからは来年、通常国会に提案される保育・医療・介護などの社会保障大改悪について報告され、たたかいの強化がよびかけられました。

エコ家電のポイン
トが、12月から半
減だそう。その
ため、11月の家電量販店
は大賑わい。薄型テレビ
の売り上げでは、昨年比
で5倍近い売り上げの局
面もあったとか。単なる
需要の先食い、これか
ら消費にブレーキが一気
にかかることが心配だ▼
しかも、年収300万円
以下の世帯と1000万
以上の世帯では、エコカ
ラ補助金やエコ家電ポ
イントの利用額に4倍近い
開き、との数字がある。
結果として金持ちほど優
遇される、河村名古屋市長のニセ「減税」のよう
な愚策だ▼その上、更に
頭に来る事がある。大量
生産大量消費をやめて、
ものを大切に使い続ける
心は、どこへ行ってしま
ったのだろうか。私は、
12月3日に15年使った愛
車の新たな車検を取っ
た。まだまだ使えるテレ
ビや冷蔵庫や自動車、
大量に積み上げられてい
る図を想像すると心が痛
む。そのうち資源として
再生されるにしても、そ
のためのエネルギーは
丸々無駄だろう▼エコカ
ラ補助金の総額は580
0億円。その税金は、ご
っそり自動車関連大企業
の増収に消えてしまっ
ている。フランスのサルコ
ジ大統領でさえ、カルロ
ス・ゴーン氏を呼びつけ
て「税金の補助を受けた
からには、工場をフラン
スにとどめよ」といった
そう。菅首相は国民が
しかりつけないと、動き
そうもない。(田)

大企業・トヨタの身勝手の裏で 地域と下請け企業が疲弊

第27回トヨタシンポジウムを豊田市で開催

11月28日、豊田市福祉センターで第27回トヨタシンポジウムを開催し、85人が参加しました。

午前中の基調提起で実行委員会の吉良事務局長は「名古屋市内の自動車関連製造業5業種2000軒を対象に実態調査アンケートをおこなった。アンケート送付前からすでに廃業・倒



午前中の基調提起から夕方の特別報告までトヨタの現場、地域・下請けの状況について報告をうける参加者

産のどこにも多数あり、回収できたなかでも厳しい声があちこちであがっている」と発言。「トヨタは海外生産へのシフトをすすめる一方で国内ではいっそうの効率化をすすめている。社会的責任のさらなる追及が求められる」と話し、トヨタをはじめとする大企業へのとりくみ強化を掲げま

自動車交流会を成功させ トヨタ総行動へ結集を

経済産業省内に設置された研究会が「次世代自動車戦略2010」を発表。その内容は、2020年までに「次世代自動車」の比率を20～50%とすることを



今年（2月11日）のトヨタ総行動でトヨタ本社前をデモ行進する参加者

ロードオブピース

武器輸出三原則「見直し」は葬られたか

政府は7日、「武器輸出三原則」「見直し」について、年内に策定する「新防衛計画大綱」には盛り込まないことにしました。「見直し」の発端は、アメリカと財界。11月8日の日米財界人会議は軍需産業の「国際共同研究開発」参加を口実に「見直し」をせまり、同

愛労連は2月10日に自動車産業をかける地方組織をよびかけ、自動車交流会をおこないます。交流会を成功させ、翌日の第38回トヨタ総行動へ多くの仲間が集まりましょう。

愛労連は2月10日に自動車産業をかける地方組織をよびかけ、自動車交流会をおこないます。交流会を成功させ、翌日の第38回トヨタ総行動へ多くの仲間が集まりましょう。

たたかう仲間たち NO.71

全ての争議解決に向けて

愛知争議団連絡会議 総会を開催

愛知争議団連絡会議 事務局長 植木日出男

愛知争議団連絡会議 事務局長 植木日出男



黒島英和議長より、「愛知争議団では、昨年労災認定を求める訴訟の共同宣伝行動を行いました。今年も引き続き実施

マスコミはこぞ「減税」を知事選の争点にしようとしています。「減税」に賛成か反対かどう考えたらいでしうか。職場で話し合ってみましょう。

確かに「減税」はありがたい

職場で話してみよう！

「減税」の言葉に だまされないで

所得の多い人や大もうけした企業から税金を多く、所得の少ない人からは少なく取り、社会保障などを通じて平等に分配します。これが税金と社

所得が多い人や大もうけしている会社には大きな減税となりました。500万円以上減税された人が600人います。たいへんな「金持ち減税」

大企業の減税の代わりに消費税を引き上げる動きもあります。「減税の言葉にだまされないように

社会保障による「所得再分配」機能です。ところで国民の多くは収入の大半を生活費に消費します。消費税は所得の少ない人ほど負担割合

名古屋市では一律減税を行いました。そのため

です。いっぽう所得の少ない人には減税の恩恵はありません。市民の半分が減税ゼロでした。

家族・知人等で困っている方にご紹介ください。
パート・臨時・派遣、どなたでも相談できます

無料！労働相談110番

祝祭日を除く月～金 9:30～16:30
E-mail 110@airoren.gr.jp
または検索サイトで「愛労連」

愛労連労働相談センター
Tel.052(881)1411



Topics

11/14

3回目となる豊橋1日派遣村相談会は弁護士や司法書士、看護師がボランティアに参加。46人が相談に訪れた。



11/18

今年で最後となる救援美術展はオープニングセレモニーで布川事件の桜井昌二さんを招き、多くの人で賑わった。



11/19

憲法と平和を守る愛知の会が県民集会を栄広場で開催。名古屋市政の民主主義を守ろう、沖縄と連帯など訴えた。



12/5

国際会議場でおこなわれた国鉄闘争報告と感謝の夕べに230人が参加。全労連の工藤さんがお礼をのべた。

みんなのとりくみ お寄せください

単産・単組や地域でのとりくみを写真（デジタルでも可）と簡単な文章でお寄せください。しめきりは毎月4日までに愛労連事務局必着。詳しくは…
TEL 052-871-5433(龍尾)まで
E-mail post@airoren.gr.jp

参加は「亡国」の道

TPP

環太平洋戦略的経済連携協定

■環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)の農業への影響 (農林水産省試算)

農業生産 4.1兆円減

食料自給率 40%→14%へ低下

農業の多面的機能 3.7兆円喪失

実質GDP 7.9兆円減

雇用 340万人減

(即時関税撤廃を前提)

農林水産省が試算した数値。自給率の低下だけでなく、雇用の喪失にもなると指摘しています。

広がるTPP参加反対、立ちあがる国民
菅内閣がすすめるTPP参加・自由貿易路線に、全国でJA・農民が反対して立ちあがっています。
TPP参加は、農業・雇用の破壊にとどまりません。関連する産業や林業・漁業にも深刻な影響をあたえます。
大企業中心、輸出企業応援の「成長戦略」では日本経済は立ち直りません。TPP参加にきつぱりと反

対し、「食料主権」の立場から農業保護、さらに第一次産業を活性化させ、そこにも雇用拡大を図る「内需主導の経済」への転換がいまほど強く求められているときはありません。
愛労連はこの秋、中小企業調査をすすめてきました。春闘でも雇用・賃上げで内需主導の景気回復をめざす方針を掲げています。
地域で農業団体などの共同をすすめて、日本の農業を守る大きな運動をすすめていきましょう。

日本の農業・雇用を破壊する 輸出企業の利益と引き換えに

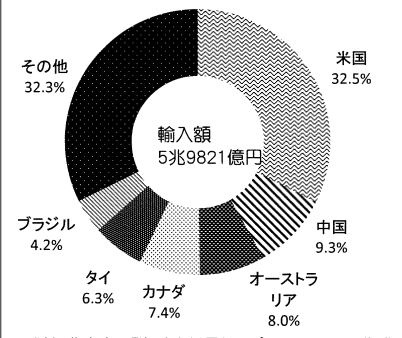
アメリカ・輸出大企業の後押しで
菅内閣は、TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）への参加を表明しました。大島経産相はその理由について「アメリカが（同協定への）加入を表明した。それから検討が開始された」とのべているように、アメリカに後押しされたこ

とがきっかけでした。TPPとは何か？
政府は「2020年に実現をめざすアジア太平洋自由貿易圏（FTAAP）にむかうなかで『唯一交渉が開始された』もの」として重視し、2011年6月には参加の是非を決定するとしています。その基本的立場は「すべての品目について例外なく関税を撤廃し、

貿易を自由化する」、つまり農業も含めて全面的に市場を開放するというものです。
「農業はGDPの1.5%」外相切り捨て容認
日本のなかでTPP参加をもっとも強く望んでいるのは「経団連」です。なかでも強力に後押ししているのはトヨタなどの輸出大企

業です。前原外相は「日本のGDPにおける第一次産業の割合は1.5%、そのために98.5%が犠牲になつてもいいのか」とのべました。
これは「亡国」への道です。農水省の試算では農業ばかりか、340万人の雇用喪失や自給率もカロリーベースで40%から14%に低下するとされています。

農産物全体の国別輸入割合(2008年)



日本はすでに「食料輸入大国」
菅首相は日本の農業があ

たかも「鎖国」であるかのように主張していますが、すでに日本は「世界一の農産物純輸入国」になつています(図参照)。
食料は天候にも左右され、外国依存では供給できなくなることがあります。
国民のいのちと健康を守るといふ視点からも食料自給率を高めることはかせません。



青年が楽しめ参加したくなる企画を

愛労連青年協第21回定期総会を開催

青年協ニュース

AIAI

NO.47



みんなで楽しく1年がんばるぞ～！

11月21日、第21回愛労連青年協定期総会がおこなわれ、34人が参加しました。討論では、「職場がハンパなく忙しい」「職場外活動までやっていたらいい」など、活動の危機的な状況が切々と語られ、余裕のない過酷な労働状況が若者にまで及んでいることがわかりました。
しかし、多忙な中でも総会に参加した青年からは現状を変えたいという思いが伝わりました。

えようとすると活力や、いろいろな企画を作り参加したいという意欲に満ちた発言も飛び交いました。
「青年協のボウリング大会は参加しやい」など、活動の危機的な状況が切々と語られ、余裕のない過酷な労働状況が若者にまで及んでいることがわかりました。
しかし、多忙な中でも総会に参加した青年からは現状を変えたいという思いが伝わりました。

話聞いたのが本当によかった」など、笑顔も絶えない討論となりました。
まとめの答弁では、今年度で退任となる矢野議長から「青年が未来に希望を見い出せない現実があるのは確かですが、愛労連青年協はこれから引き続き青年が楽しめ、参加したくなるような企画を作っていく予定です。また、一方的に企画を提供するのではなく、いろいろなアイデアをもらいながら、ともに作っていきなさいと思います」と、青年の連帯をさらに強めようと力強いエールが送られました。
総会議案は満場一致の拍手で可決され、新役員・幹事による新たな青年協のスタートを切りました。
(青年協幹事会発)



若見温子 さん
全日本国立医療労働組合
名古屋支部

「仕事は、国立名古屋医療センターで臨床研究支援事業のデータ管理をおこなっています。お堅い職場に聞こえますが、ご本人はおっとりとした優しいお姉さんという感じの若見温子さん。

おやまほす

NO.71 医労連

組合でいろんなことにチャレンジしたい

以前は、組合に対して「こわい」というイメージを抱いていたそうで、「経営者と向かい合って交渉（団交）するなんて、勇気がない」と言います。しかし、青年部の活動に積極的に参加していくうちに、「他業種の青

今年度、愛労連青年協の副議長として新しく選出されました。「青年協にきたきつかけは、9月に行われた東海北陸ブロック主催のサマーセミナーへの参加だった」といいます。その中の企画で、岩盤浴に行き、女性3人で大いに盛り上がりつつあったのが一番良かったとか。

「サマーセミが楽しかったから、やってみようかなあ」と軽い気持ちで「いいよ」と引き受けたと、はにかんだ表情で話してくれました。

秋の組織拡大月間

なかまづくり奮闘中

やっぱり多くの人が組合に入ってなくちゃね



紙芝居で説明する生協労連の役員

秋の組織拡大月間もスタートから2カ月が経ち、各組合で新しい仲間を迎えられています。

お茶菓子や紙芝居使い組合の疑問を懇談

生協労連のコープあいち労組福祉支部では、「よう組合に入ってなくちゃね」と5人が加入しました。豊橋市のデイサービスでもあまきとワッフルを食

自治労連では、(自治体)関連協が中心になって「非正規労働者の雇用の安定と均等待遇を実現する『怒りと誇りの大運動』を展開。臨時・非常勤の労働条件向上をめざす署名で対話し、これまでに正規職員も含め

こそ・ろうそキャンペーン」にとりくんでいます。安城市のデイサービスセンターでは休憩室にお茶菓子を準備し、労働組合への疑問などを出してもらいながら懇談。「やっぱり多くの人が労働組合に入ってなくちゃね」

要求署名で非正規の仲間と対話を広げる

93人が加入しています。年金者組合では、県下61支部中40支部が仲間を増やし、129人の純増で6700人を突破。建交労では宣伝や未加入訪問、労働相談などを通じて2組合を結成し、全国一般も3組合を結成。福保労では、すでに月間目標を達成するなど、各組織で仲間づくりの奮闘が続いています。

みんなの声

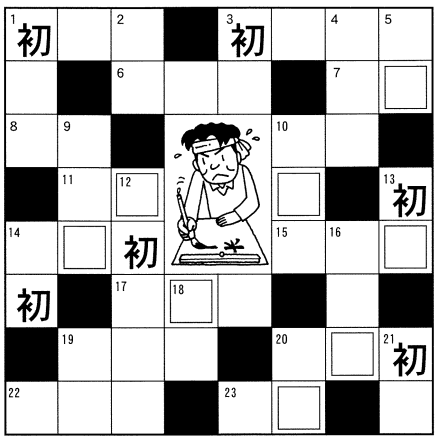
■保育の市場化、子ども子育て新システム」の危険を広く伝えていきたいと署名活動を行っています。みなさんよろしく願いします！署名が力になるとわかつてはいるのですが、なかなか：今日をきつかけにがんばるぞう！（福保労・加藤好美）

■又、年賀状の季節がやってきた。毎年、要員不足で連続勤務、長時間超勤（超過勤務）残業で大変。郵便局の現場労働者は、お正月は夢の夢。あと7年で定年退職。ゆつくりしたいネ。でも、それまで体がもつか心配です。（郵便労・松井静保）

■労働者をやめて15年。久しぶりに労働者の活動する姿にはげまされています。むずかしい情勢ですが、皆さんで頑張ってください。（服部茂子）

■最近の国内外の情勢を見ていると、この先が見えなくて不安になります。だから：！と叫びたい。（全気象・小笠原明男）

■私の住んでいる工業地域は、10年くらい前から、工業地域ではなくなってしまう気がする。不況で中小の工場が倒産して、その立



クロス・漢字ワードパズル

【解き方】「初」は「ハツ」または「ショ」と読んでください。二重ワクの8文字をうまくならべると言葉ができます。ヒントは中の絵。

- タテのカギ
①新年……を迎える
②機械類に詳しい……
③元日の朝の太陽
④目が長い動物
⑤師匠が……をこる
⑥買収は選挙……です

- ⑦……を惜しんで読書する
⑧……心地最高の新幹線
⑨バアと赤ん坊を……する
⑩父親の父親
⑪衣……住
⑫テレビを見ながらゴロ
⑬いちばんやさしい段階
⑭たびたびおこること
⑮留守番……さまでし

■ヨコのカギ

- ①富士2タカ3ナスビ
③新年になってはじめて、神社や寺におまじりすること
⑥新年会の……はいくらですか？
⑦……向かいにすわる
⑧……は友を呼ぶ
⑩花粉症の原因になる木
⑪羽子板で……つきをする
⑭悪いところ
⑮資源を……する
⑯人の言葉を……にする
⑰スゴロクのゴール
⑱書体の一つ
⑲上に着る下着
⑳化粧道具です

※ハガキに答え、住所、氏名、組合名と近況が紙面に対する感想・意見を記入の上、1月5日までに愛労連（〒456-0006名古屋熱田区沢下町9-7労働会館東館3F）まで応募下さい。正解者の中から、抽選で図書カードを進呈します。なお、お寄せいただいたハガキの中から近況や感想・氏名・組合名を紙面で紹介させていただきます。

【前号クイズの答え】
前号208号11月号のクロス漢字ワードパズルの答えは「ユジタク冬支度」でした。正解者の中から抽選で10名の方に図書カードをお送りします。

今後の主な日程

- 新春大宣伝
1月7日（金）8:00～
名駅・ミッドランドスクエア前
- 愛労連女性協新春のつどい
1月10日（月・祝）12:00～
労働会館東館ホール
- 革新県政の会県民大集会（仮称）
1月13日（木）18:30～
名古屋市公会堂
- 最賃・賃金問題学習会
1月28日（金）18:30～
労働会館本館2階会議室
- 自動車交流会（仮称）
2月10日（木）14:00～
労働会館東館ホール

新役員紹介

■一宮地区労連
議長 未定／副議長 未定
／事務局長 なばり正博

労働相談の窓

いじめ・パワハラで退職に追い込まれる

労働相談の件数は以前にくらべ若干少なくなってきました。相談内容では相変わらず「解雇」が一番を占めていますが、次に多いのが「いじめ・パワハラ」です。

一昨年のような派遣労働者の大量解雇という事件はなくなってきましたが、今日の不況状態を示すかのごとく相談者は「大企業から中小企業・事業所」に移ってきています。

それも本来は、会社都合の整理解雇であるのに自己都合退職に追い込むための「いじめ・パワハラ」でうつ病を発症、「メンタルヘルスの相談」が多く、陰湿な職場環境が現れているのが特徴です。

ある事例で、ペルー人で日本に帰化された若者が、上司である社長の弟から仕事上のあることないことを告げ口されました。社長は弟の言葉

だけを信用し、何を言っても聞いてもらえず、自己都合退職に追い込まれました。

片言しか話すことができずハナから理解してくれない、社会保険も労働保険も未加入で失業手当もなく、夫婦と子ども3人が途方に暮れて「助けてください」とのこと。

労働基準監督署と社長に直接連絡し掛け合うなかで解決しました。（N・I）